

平成20年度 公共施設循環バス（ふれあいバス）利用実績

■ 概要

平成12年4月1日に運行を開始し、当初は1台で3コース、各週2日運行していましたが、平成13年11月22日より2台で4コース、各週3日運行しています。

運休日については、1台運行時は公共施設の休館日である月曜日としていましたが、2台の運行により、北部コースを日曜日、南部コースを月曜日とし、年末年始を除き毎日運行しています。

運行開始以降、利用者アンケート、自治会との協議を経て、要望が多かったジャスコ猪名川店にバス停を設けるなど利用者の要望に対し改善を行っています。

また、ICカードPitapaをふれあいバスでも利用できるようにするなど、利便性の向上にも努めているところです。

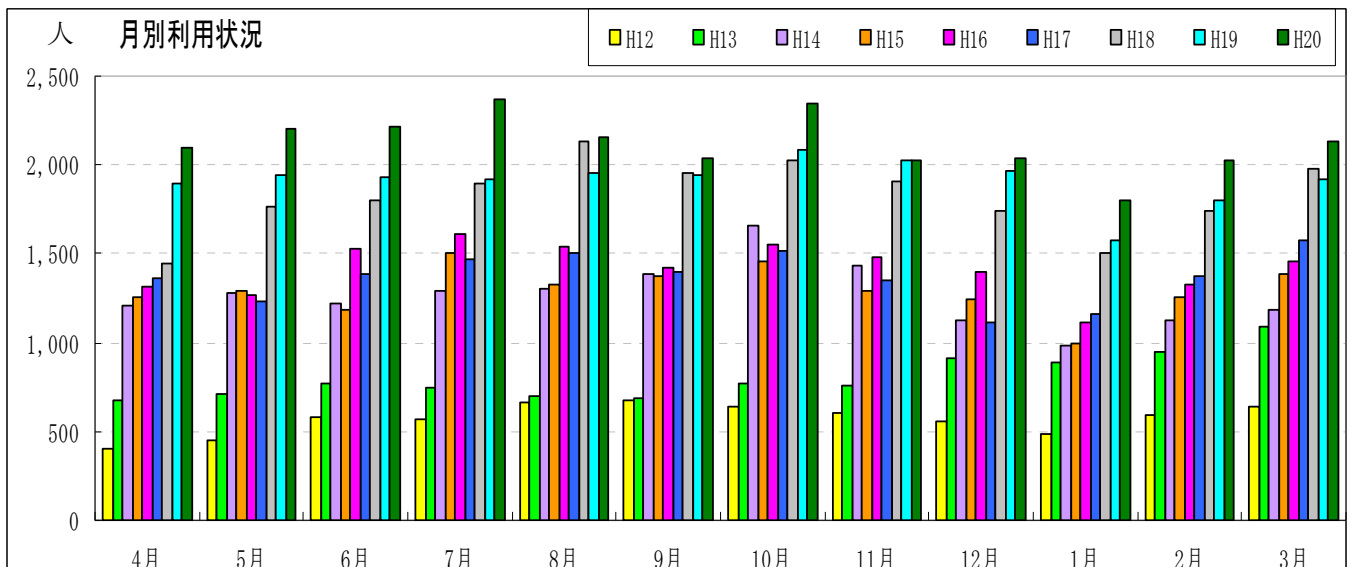
平成18年5月1日から町内在住の70歳以上の高齢者及び身体・知的・精神障害者の手帳所持者の無料化を実施し、利用者の増加を図り、福祉施策の推進にも寄与しているところです。

■ 年度別月別利用状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成12年度	403	449	582	569	663	680	636	600	557	491	587	644	6,861
平成13年度	671	708	766	751	700	693	771	756	910	888	948	1,094	9,656
平成14年度	1,207	1,278	1,223	1,291	1,308	1,386	1,655	1,437	1,125	987	1,125	1,187	15,209
平成15年度	1,257	1,292	1,185	1,509	1,328	1,369	1,452	1,289	1,244	999	1,261	1,381	15,566
平成16年度	1,312	1,264	1,529	1,610	1,538	1,416	1,550	1,477	1,404	1,114	1,326	1,456	16,996
平成17年度	1,359	1,235	1,391	1,469	1,510	1,395	1,515	1,352	1,111	1,162	1,369	1,580	16,448
平成18年度	1,448	1,768	1,796	1,891	2,127	1,950	2,028	1,908	1,747	1,507	1,746	1,974	21,890
平成19年度	1,892	1,946	1,935	1,919	1,959	1,942	2,080	2,022	1,971	1,574	1,804	1,918	22,962
平成20年度	2,093	2,199	2,218	2,372	2,161	2,033	2,350	2,023	2,036	1,806	2,024	2,131	25,446
H20前年度比	1.11	1.13	1.15	1.24	1.10	1.05	1.13	1.00	1.03	1.15	1.12	1.11	1.11

※平成13年11月22日より2台運行



利用者については、平成17年度に若干減少したものの、平成18年度には初めて2万人を超えました。これは、平成18年5月1日から70歳以上の高齢者及び身体・知的・精神障害者の手帳所持者の利用料を無料化したことが大きな要因になったと考えられます。

今後、さらなる利用者の増加を考え、高齢者の利用促進とともに、生産年齢層あるいは若年層への利用促進が課題となります。

平成20年度運賃収入

単位：金額（円）、利用者（人）

	輸送収入額	利用者数	グランドパス		スクールパス利用者		すこやかカード		身体障害者手帳		平均運賃
			利用者	割合	利用者	割合	利用者	割合	利用者	割合	
4月	100,496	2,093	333	15.9%	37	1.8%	1,083	51.7%	94	4.5%	48.0
5月	100,890	2,199	307	14.0%	35	1.6%	1,231	56.0%	74	3.4%	45.9
6月	94,307	2,218	294	13.3%	42	1.9%	1,223	55.1%	69	3.1%	42.5
7月	104,880	2,372	339	14.3%	86	3.6%	1,312	55.3%	62	2.6%	44.2
8月	112,503	2,161	291	13.5%	28	1.3%	1,167	54.0%	43	2.0%	52.1
9月	85,595	2,033	306	15.1%	55	2.7%	1,178	57.9%	33	1.6%	42.1
10月	103,025	2,350	331	14.1%	45	1.9%	1,329	56.6%	45	1.9%	43.8
11月	82,789	2,023	318	15.7%	17	0.8%	1,210	59.8%	54	2.7%	40.9
12月	74,734	2,036	273	13.4%	76	3.7%	1,220	59.9%	47	2.3%	36.7
1月	80,707	1,806	319	17.7%	26	1.4%	1,039	57.5%	34	1.9%	44.7
2月	80,820	2,024	356	17.6%	20	1.0%	1,166	57.6%	54	2.7%	39.9
3月	81,841	2,131	322	15.1%	33	1.5%	1,288	60.4%	66	3.1%	38.4
合計	1,102,587	25,446	3,789	14.9%	500	2.0%	14,446	56.8%	675	2.7%	43.3

	金額(円)	対前年度比 (%)
平成12年度	1,012,807	
平成13年度	1,301,509	1.29
平成14年度	1,964,565	1.51
平成15年度	1,884,166	0.96
平成16年度	1,916,404	1.02
平成17年度	1,861,754	0.97
平成18年度	1,347,891	0.72
平成19年度	1,123,503	0.83
平成20年度	1,102,587	0.98

運賃収入額については、平成14年度をピークに減少傾向にあります。

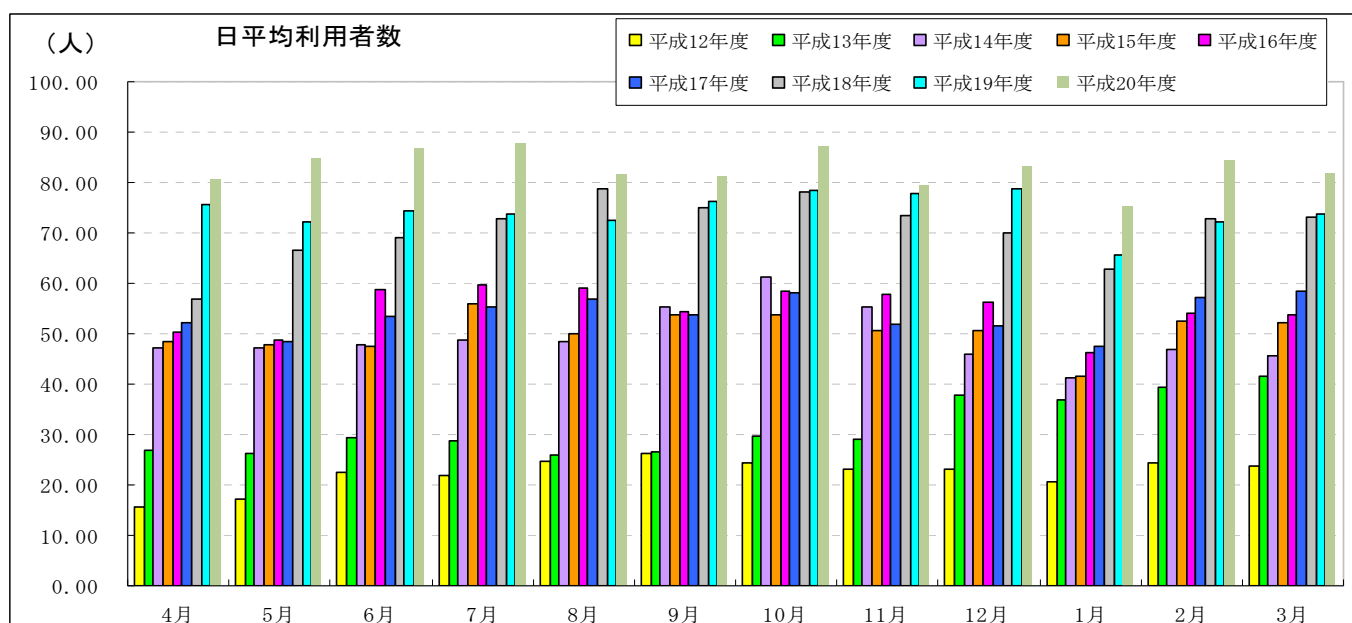
利用者の伸び率と運賃収入の伸び率に違いがあるのは、平成18年度から実施しています70歳以上の高齢者、身体・知的精神障害者の手帳保持者の無料化が大きな要因となっています。

全体の利用者の半数以上が無料でご利用いただいていることから、今後の運賃収入については、さらなる減少も予想されます。

■ 日平均利用者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平成12年度	15.50	17.30	22.40	21.90	24.60	26.20	24.50	23.10	23.20	20.50	24.50	23.90	22.30
平成13年度	26.80	26.20	29.50	28.90	25.90	26.70	29.70	29.10	37.90	37.00	39.50	41.50	31.56
平成14年度	47.33	47.33	47.96	48.72	48.44	55.44	61.30	55.27	45.92	41.13	46.88	45.65	49.28
平成15年度	48.35	47.85	47.40	55.89	50.11	53.69	53.78	50.55	50.78	41.63	52.54	52.11	50.39
平成16年度	50.46	48.61	58.80	59.60	59.15	54.46	58.50	57.90	56.20	46.40	54.10	53.90	54.84
平成17年度	52.27	48.43	53.50	55.43	56.98	53.65	58.27	52.00	51.67	47.42	57.04	58.51	53.77
平成18年度	56.78	66.72	69.08	72.73	78.78	75.00	78.00	73.38	69.88	62.79	72.75	73.11	70.75
平成19年度	75.68	72.07	74.42	73.81	72.56	76.16	78.49	77.77	78.84	65.58	72.16	73.77	74.28
平成20年度	80.50	84.58	86.98	87.85	81.55	81.32	87.04	79.33	83.10	75.25	84.33	81.96	82.82
対前年度比	1.06	1.17	1.17	1.19	1.12	1.07	1.11	1.02	1.05	1.15	1.17	1.11	1.11



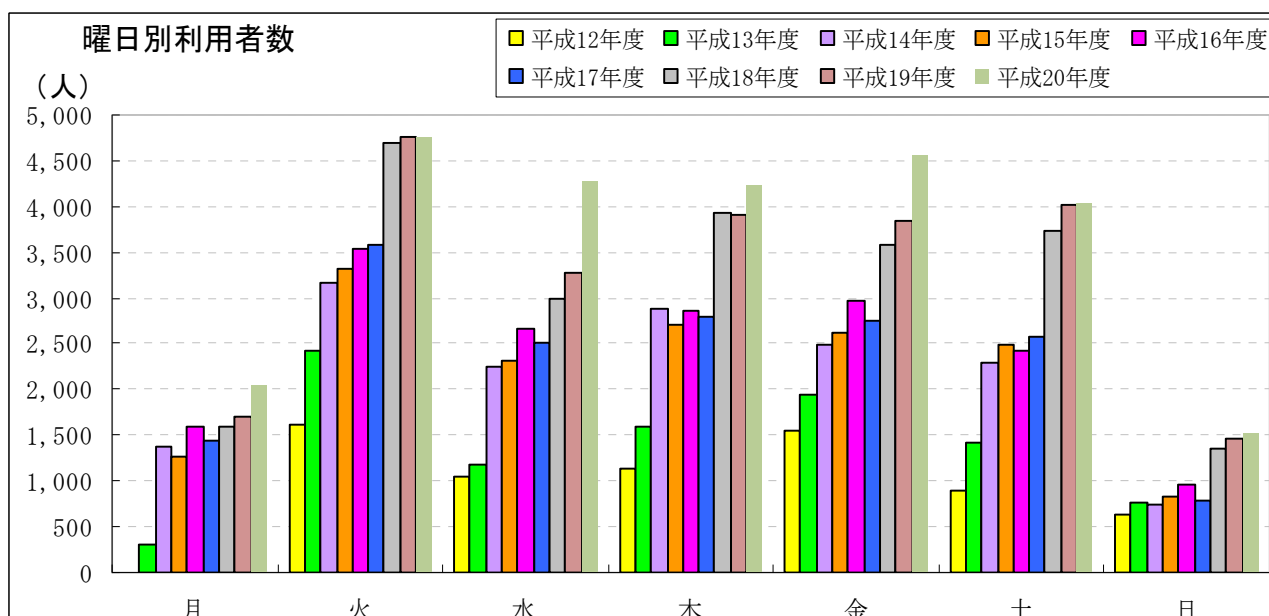
日平均利用者については、5～7、10～12月が多くなっています。過去の統計からも10月の秋の行楽シーズンにおける利用が多いことから、春秋のハイキングなどの利用者として推測できます。

また、その他の月においても通年を通して平均して利用いただいていることから、日常的に利用されている人が多く、生活路線として定着していることが伺えます。

■ 曜日別利用者数

(単位：人)

	月	火	水	木	金	土	日	計
平成12年度	—	1,613	1,042	1,139	1,543	899	625	6,861
平成13年度	316	2,428	1,174	1,598	1,946	1,420	774	9,656
平成14年度	1,369	3,159	2,252	2,892	2,491	2,301	745	15,209
平成15年度	1,262	3,329	2,324	2,718	2,615	2,498	820	15,566
平成16年度	1,592	3,533	2,674	2,860	2,961	2,416	960	16,996
平成17年度	1,440	3,583	2,508	2,800	2,760	2,572	785	16,448
平成18年度	1,598	4,705	2,986	3,924	3,579	3,737	1,361	21,890
平成19年度	1,708	4,750	3,267	3,919	3,850	4,012	1,456	22,962
平成20年度	2,049	4,751	4,290	4,231	4,570	4,032	1,523	25,446
対前年度比	1.20	1.00	1.31	1.08	1.08	1.19	1.05	1.11

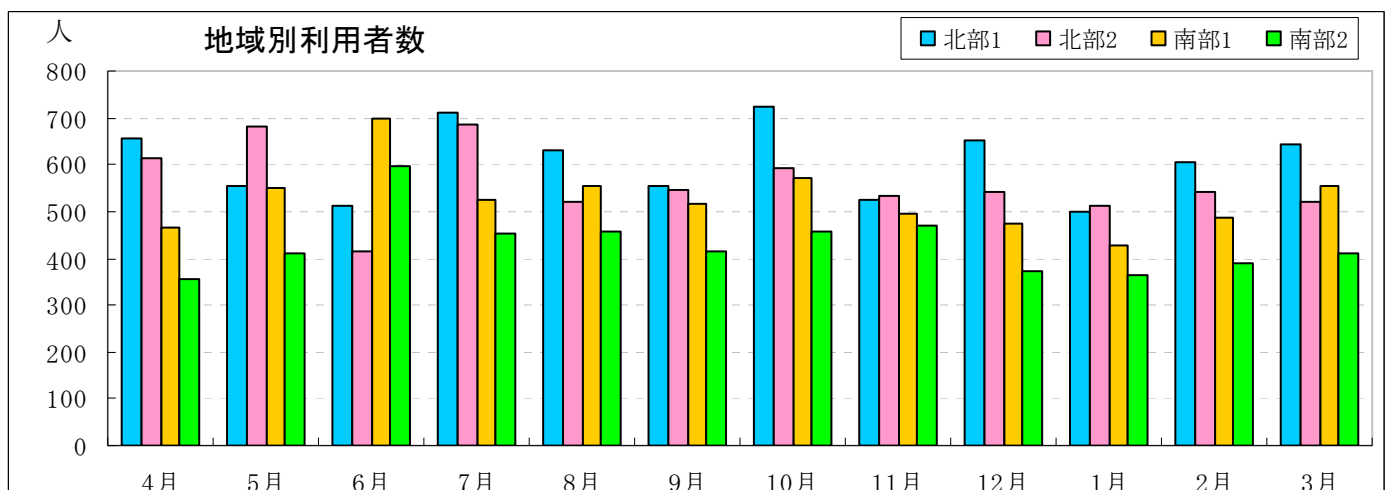


曜日別に見てみると火曜日、金曜日が突出して多くなっています。月曜日及び日曜日が少ないのは、1コースが運休のためです。

■ コース別利用者数

(単位：人)

20年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
北部 1-1	276	224	216	280	258	212	264	192	271	202	224	273	2,892
北部 1-2	173	144	183	214	180	157	213	169	186	156	192	179	2,146
北部 1-3	85	68	58	116	97	81	123	74	109	76	102	97	1,086
北部 1-4	124	119	54	100	96	104	125	91	86	66	88	94	1,147
北部 1	658	555	511	710	631	554	725	526	652	500	606	643	7,271
北部 2-1	234	279	121	248	164	197	222	232	182	210	196	222	2,507
北部 2-2	163	158	147	174	127	136	184	130	168	128	132	122	1,769
北部 2-3	107	99	81	131	126	110	95	61	110	85	90	78	1,173
北部 2-4	109	147	65	133	102	102	93	109	81	91	123	100	1,255
北部 2	613	683	414	686	519	545	594	532	541	514	541	522	6,704
南部 1-1	215	251	277	220	244	233	284	232	220	202	232	257	2,867
南部 1-2	156	173	202	177	175	150	150	131	154	138	142	170	1,918
南部 1-3	57	69	88	65	70	66	64	61	51	39	55	66	751
南部 1-4	37	57	130	63	64	69	74	70	47	47	59	61	778
南部 1	465	550	697	525	553	518	572	494	472	426	488	554	6,314
南部 2-1	100	108	247	131	154	139	153	168	112	106	122	129	1,669
南部 2-2	122	137	136	132	124	134	146	146	131	132	140	127	1,607
南部 2-3	86	77	87	103	74	65	81	89	72	71	66	93	964
南部 2-4	49	89	126	85	106	78	79	68	56	57	61	63	917
南部 2	357	411	596	451	458	416	459	471	371	366	389	412	5,157
計	2,093	2,199	2,218	2,372	2,161	2,033	2,350	2,023	2,036	1,806	2,024	2,131	25,446



運行コースは、1日2往復しており、○-1が午前往路・○-2が午前復路・○-3が午後往路・○-4が午後復路で分類しています。

利用者数は、各路線とも3・4の午後の便の利用が少なくなっています。このことから、ふれあいバスを利用して、施設の開所時間や受付などから、ゆうあいセンターの利用や、通院、あるいは買い物での利用が多いことが推測できます。

■ まとめ

ふれあいバスの運行に際しては、ジャスコ猪名川店へ乗り入れを開始したことや、つつじが丘住宅地の人口増に対応して3丁目から5丁目にバス停留所を新設したことなど、利用者の要望、実態に応じた変更を随時実施してまいりました。

その結果、利用者は毎年増加傾向を示し、地域間の移動手段として位置付けられてきたと考えております。

また、地域の要望を聞く中で運行ルートの見直しを行っていますが、その反面、1コースに要する時間、距離が非常に長くなっており、利用者からは短縮できるような改善が求められています。

しかし本町の地形的な条件や、既設路線との競合など課題は多く、これらを考慮しながら要望に応じてまいりたいと考えます。

これからますます進む高齢社会への対応策の一つとして、ふれあいバスの運行を利用者の立場に立って、誰からも親しまれるふれあいバスとなるよう引き続き利便性の向上に努めてまいります。